



施設営繕担当部 施設営繕第一課 保全

齋藤 篤史

(建築職 H26年度入庁)

保全の仕事について

区民の皆様や我々職員が日々携わる施設を安心して運営していくためには、建物の適正な機能の維持管理が重要となってきます。私達の職務は、そういった施設における不具合の改善や、現在のニーズに合わせた施設の整備を行っています。

しかし、施設は規模や築年数も様々ですので改善・整備にあたっては、建物等の劣化状況の調査を行い、技術的な観点の下、優先順位をつけ計画的に行っていく必要があります。また、それは区の施設全体を視野に入れた重要な計画であるといえます。そういった計画の一端を設計、工事監理という形で実際に作り上げていく事を私達は行っています。



外壁劣化箇所の補修確認
(施工後の出来型をチェックします)

仕事とやりがい

改修工事において設計から竣工までを携わる事ができ、そういった過程の中で技術的な意見を提示、反映させる事ができるところに、保全でのやりがいを感じます。また、様々な施設の案件を通して、建物の仕様や納まりを理解する事ができ、その経験が今後の課題解決における選択肢の幅に繋がります。

工事を行うにあたっては施設利用者や所管課の理解無しには進めることはできないので、対外的な調整力も必要となってきます。こういった技術的なものとは違った力も工事を通して培っていくことができ、それもこの職務でのやりがいの一つであると言えます。



既存屋上防水の調査
(不具合の箇所、原因を自分の目で確認します)

